

[illegible]

15回							
16回							
17回							
18回							
19回							
20回							
21回							
22回							
23回							
24回							
25回							
26回							
27回							
28回							
29回							
30回							
成績評価方法及び基準							
井上：継続事例に必要な子育て支援に関するレポート（20％）、4か月児の発育・発達に関するレポート（20％） 瀧本：市場調査【グループ課題】（20％） 今村：子育て体験（20％）、お出かけ体験（20％） 各評価ともに6割を合格の条件とする。							
教科書	①石井邦子「助産学講座8 助産診断・技術学Ⅱ [3] 新生児・乳幼児期」（医学書院） ②我部山キヨ子「助産学講座9 地域母子保健・国際母子保健」（医学書院）						
参考図書等							
授業時間外の学習について（授業準備のための指示）							
それぞれの授業で課題があるため、授業時間外での自己学習が必要となります。また、その課題が評価の対象となります。							
関連科目							
前科目	S104 新生児・乳幼児学		助産学実習Ⅰ～Ⅳ	S111 周産期ハイリスクケ	S113 親子関係発達論		
後科目							
実務家教員							
備考	この科目は、子育て支援について学ぶ科目です。その為、新生児の解剖生理や母親の妊娠・出産に伴う体の変化は勿論、育児技術など、基礎的な知識や技術は習得しておく必要があります。今までの学びを復習して、授業に臨んでください。						